



向陽

千歳市立向陽台小学校

< 学校教育目標 >

- すすんで考える子
- すなおで思いやりのある子
- ねばり強くやりぬく子
- 明るくたくましい子

令和2年1月31日 発行

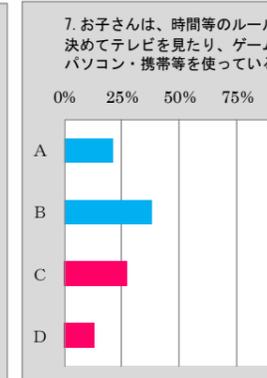
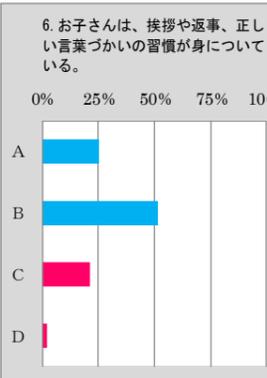
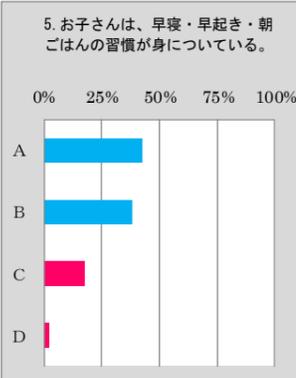
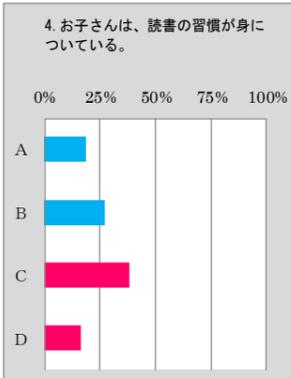
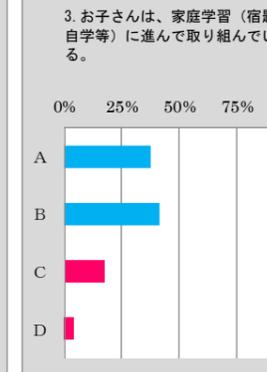
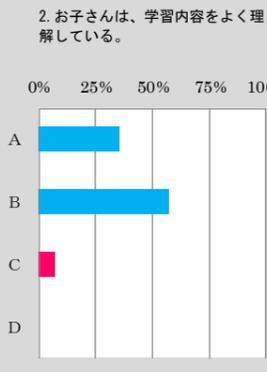
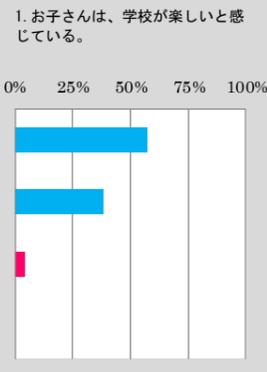
令和元年度 「ふれあい調査」の結果について

今年度の学校評価に係り、昨年11月にご協力いただきました「ふれあい調査」（保護者アンケート）の結果がまとまりましたので、その概要につきましてお知らせ致します。

令和元年度「ふれあい調査」 家庭での様子 結果

実施期間 11/12(火)~25(月)
回収率 81/112 (72.3%)

- A：よく当てはまる
- B：やや当てはまる
- C：あまり当てはまらない
- D：当てはまらない



< 「ふれあい調査」～家庭での様子 結果概要・課題・改善策 >

肯定的回答（評価A・B…80%以上）は7項目中3項目となり、「家庭学習」や「読書習慣」、「挨拶」、「メディアの使い方」に課題が見られました。

【課題と考えられる項目】

- ◇家庭学習（宿題・自学等）の取組
[アンケート項目No.3～評価C・D…21% (昨年度比+2%)]
- ◇読書習慣
[アンケート項目No.4～評価C・D…54% (昨年度比-6%)]
- ◇挨拶や返事、正しい言葉遣いの習慣
[アンケート項目No.6～評価C・D…23% (昨年度比+10%)]
- ◇時間等のルールを決めたメディアの使い方
[アンケート項目No.7～評価C・D…40% (昨年度比+3%)]

【改善に向けて】

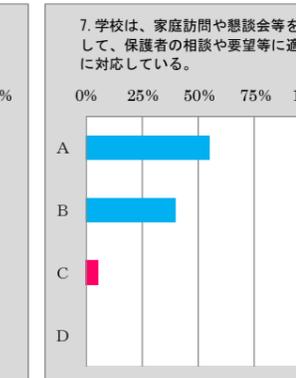
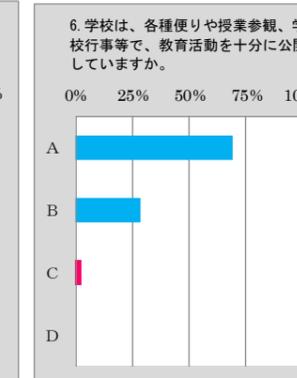
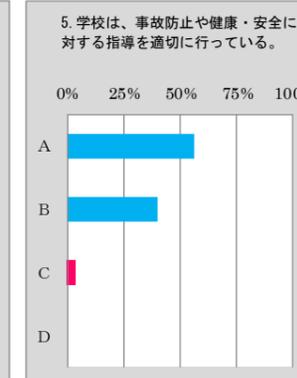
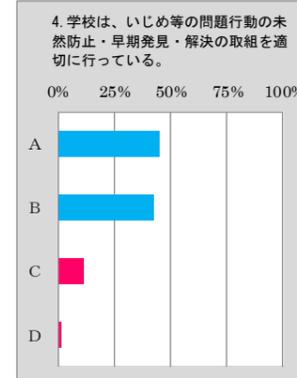
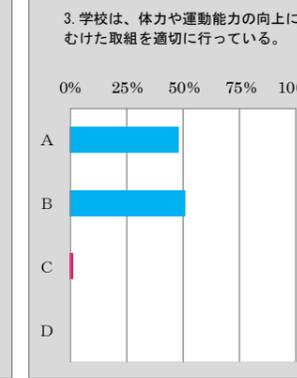
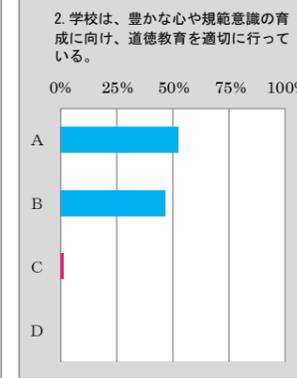
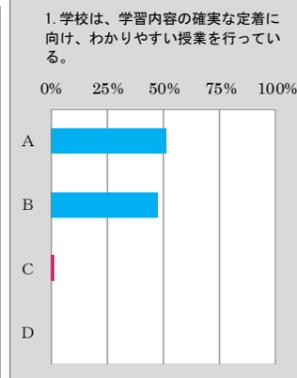
◆家庭学習で重要なことは、“自らの課題を自ら見つけていく”ことであると本校では考えております。自分にとって必要な学習課題は何なのかを常に考えながら取り組むことで、初めて自分の苦手領域が克服されます。そのような取組になるよう、保護者の方々のご協力もどうぞ宜しくお願い致します。

- ◆子ども達の読書意欲を高めるため、日頃より、各種読書事業の推進や学級文庫・本の森の利用促進、森ックの方々と連携した活動を進めてまいります。また、親子で時間を決めて本に接する「家読（うちどく）」等、学校・家庭が連携した活動を推進していきます。読書は、周知のとおり、様々な言葉や知識、豊かな心（感性）などを育てる上で大切な活動です。ご家庭でも時間を工夫されながら、10分からでも構いませんので、取り組んでいただき、“心の糧”になる読書習慣に繋げていただければと思います。
- ◆挨拶や返事、正しい言葉遣いの習慣は、社会に出て大切な生活習慣です。学校でも挨拶の重要さや、挨拶が学校生活の全ての活動に繋がる大切な言葉であることを繰り返し指導してまいります。また、日常生活においても、教師をはじめ、保護者の方々も子ども達に望ましい師範を示すことができるよう、それを共に実践してまいりたいと考えております。
- ◆スマホやケータイ、ネットゲーム等の過度の使用は、トラブルや恐ろしい事件に繋がったり、人体に悪影響を及ぼしたりすることも大いに考えられます。それらを未然に防ぐためにも、正しい使い方について大人がしっかり指導していく必要があります。学校でも十分指導しておりますが、ご家庭でも使い方等について今一度、指導して頂けますよう宜しくお願い致します。

令和元年度「ふれあい調査」 学校の教育活動 結果

実施期間 11/12(火)~25(月)
回収率 81/112 (72.3%)

- A：よく当てはまる
- B：やや当てはまる
- C：あまり当てはまらない
- D：当てはまらない



< 「ふれあい調査」～学校の教育活動 結果概要・課題・改善策 >

全体的には、7項目全てにおいて、肯定的回答（評価A・B…80%以上）が得られましたが、いじめ根絶や問題行動の未然防止に向けた取組に課題が見られました。

【課題と考えられる項目】

- ◇いじめ等の問題行動の未然防止・早期発見、解決の取組
[アンケート項目No.4～評価C・D…12% (昨年度比+1%)]

【改善に向けて】

◆この項目に関するC・D評価は、年々微増傾向が見られます。学校と致しましても、校内の「いじめ防止基本方針」を基に、いじめ未然防止の共通理解を図ることはもとより、全職員で早期発見・早期解決に向けた取組を推進しているところでございます。また、児童への教育相談・面談、いじめ状況の聞き取り、年4回実施のいじめアンケート等、様々な具体的方策をしっかりと行っております。今後も、日常的な教師と児童との信頼関係を第一に児童理解を深め、日頃の指導の在り方や相談体制の充実、関係機関との連携強化に努め、家庭と連携した指導を進めていきます。

【学校教育活動に対するご要望（自由記述）への見解】

○運動会について

●運動会に関わりましては、9家庭からご意見を頂きました。「午前開催のみでよい」というご意見や「午後まで開催したとしても早めに終わる」というご意見、また、「お弁当をなくさないで欲しい」というご意見や「お弁当が無くなると助かる」というご意見もありました。本校の運動会は、その目標「協力し合う態度」「自主性・創造性」「頑張り抜く態度」「規律ある逞しい心身」の達成を目指しながら、本校の伝統である地域との連携も加味して行っております。次年度は、全ご家庭からご意見を頂き、学校運営委員（旧学校評議員）のご意見、PTA役員会・運営委員会等のご意見も参考にさせて頂きながら方向性を決めていきたいと考えます。ここ数年、気候が不順なので悪天候にも対応できるプログラムの工夫や内容を検討していきますので、ご承知下さい。

【学校教育活動に対するご要望（自由記述）への見解】 続き

○個人面談について

- 秋の面談が希望者のみになった理由と、立ち話程度の15分という時間設定が理解できません。やるのであれば、もう少し意味のある設定にした方が……。15分が長いと感じる人が希望しないのであれば、少し長くしても良いと思うし、人数も少ないのではないのでしょうか。
- 個別懇談の希望制には反対です。希望制にするに当たり、学校が一方的に決める事では無いと思います。学校と親とのコミュニケーションの機会は少しでも多い方が良いと考えています。

【見解】秋の面談が希望制に変わった理由は、令和2年度からの外国語科完全実施による時数確保によるものです。また、時間設定については、全員対象となった場合の時間割を考え、15分間と設定しております。なお、面談時間は15分間と設定させて頂きますが、より内容の充実を図りながら進めてまいりたいと思います。また、お子様のことでのお話やご相談があるときは、個人面談日に限らず、いつでもご連絡下さい。

○その他

- 給食を食べる時間が5分や10分しかないのは何故か？

【見解】給食時間に関わっては、日課表上、準備や後片付けを含め40分間を設定しております（管内の多くの学校も同様です）。給食前の授業が給食時間に食い込まないように留意したり、準備や後片付けを効率的に進められたりするよう指導してまいります。

- 出された宿題しかなないので、もっと宿題を多くして下さい。

【見解】各担任は、学年の実態に応じて課題を出しています。また自学も充実するよう、学校では自学スペシャリスト表彰を行うなど、その大切さを伝えております。また、与えられて取り組むだけでなく、自発的に学習に向かう姿勢をもち、量や回数だけでなく“質”を重視した内容にも取り組むよう、学校では指導しております。特に、“工夫されたノート作り”になっているかなど、視点を明確にして点検しております。それらを踏まえ、ご家庭でも、お子さんの学力にしっかり結び付く学習内容となっているか確認しながら取り組ませるよう、ご協力をお願い致します。

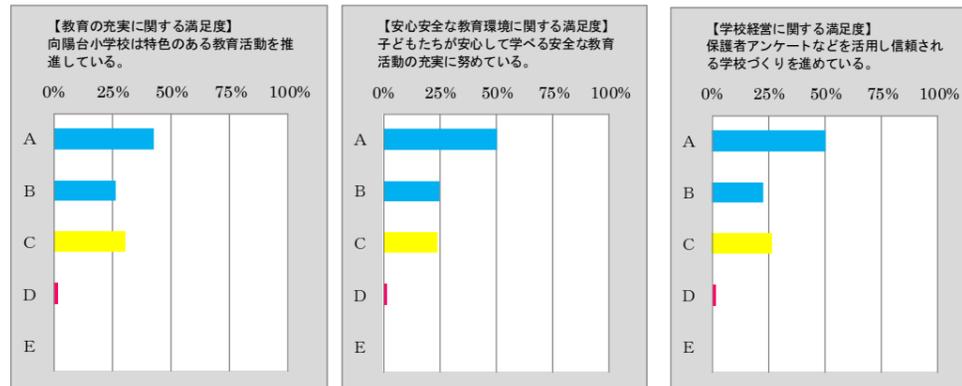
- インフルエンザ等の流行ものに罹った際、一人でもプリント等でお知らせして欲しいです。

【見解】現在、千歳市内や校内で感染症が流行した場合は、保健便りでお知らせしております。今後もこまめに感染症の情報提供をしていきます。なお、感染症は年間を通して罹患する病症でございます。ご心配な点がございましたら、担任教諭又は養護教諭へ直接お問い合わせいただければと存じます。

令和元年度「ふれあい調査」千歳市第6期総合計画 結果

実施期間 11/12(火)~25(月)
回収率 81/112 (72.3%)

- A：満足
- B：やや満足
- C：普通
- D：やや不満足
- E：不満足



【分析・傾向】

◇全ての項目において肯定的回答を得ており、A評価は昨年度に続き、設問1・2で更に上昇している。
(No.1+6%、No.2+3%)

【今後に向けて】

◆家庭訪問や懇談・個人面談、PTA活動等を通して保護者の皆様との連携を強化していきます。また、学校HPや各種便りによる積極的な情報発信に努めるとともに、評議員会や地域町内会等との連携も密にまいります。CS実施への具体的準備も進めていきます。

< おわりに >

昨年度に引き続き、「学校の教育活動」「千歳市第6期総合計画」では、全体的に一定の評価を得ているものと考えていますが、「家庭の様子」では、子ども達の生活習慣の課題が昨年度にも増して顕著に現れているものと捉えています。

学校として、これらの結果を分析・検討し、子ども達の健やかな成長を促す教育活動の更なる推進に努めていきます。また、こうした活動の情報を積極的に伝えながら、家庭・地域との連携も一層図ってまいります。保護者・地域の皆様のご理解・ご支援を今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

学習時間

- 【小学生】 第1学年=20分以上 第2学年=30分以上
第3学年=40分以上 第4学年=50分以上
第5学年=60分以上 第6学年=70分以上
- 【中学生】 第1学年=80分以上 第2学年=90分以上
第3学年=100分以上

平日、授業時間以外に学習する時間（宿題、家庭学習、学習塾、家庭教師などを含む）の目安です。発達の段階に応じて無理なく学習時間を増やしていく工夫をしましょう。

運動時間

1日60分以上

体育の授業以外で運動する時間の目安です。スポーツはもちろん、スポーツ以外の様々な運動や家の手伝いなどを取り入れ、「1日60分」以上の運動時間を確保しましょう。

テレビやゲーム、インターネットや携帯電話などメディアに触れる時間

1日合計2時間以内

平日、家でメディア等に触れる限度としての時間の目安です。時間はもちろん、メディア等の使い方についても家庭での約束を決めて、十分な学習時間や睡眠時間を確保しましょう。

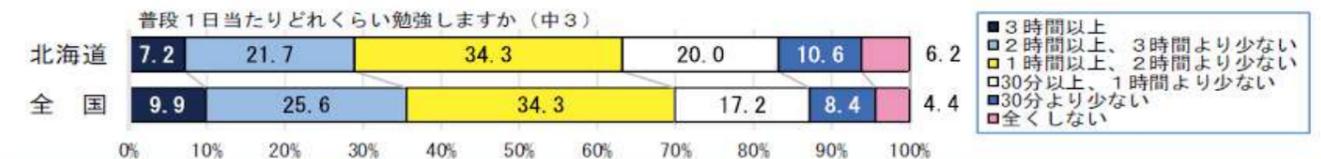
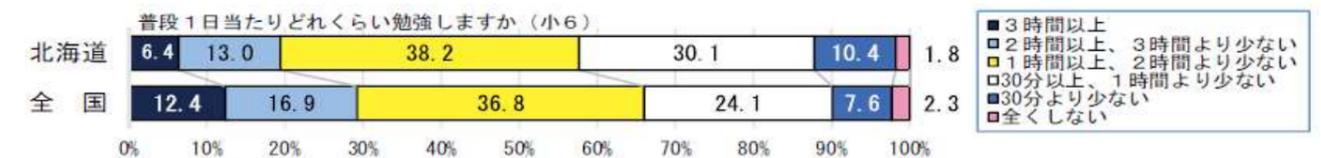
読書をする時間

まずは1日10分以上

家や図書館で読書をする時間の目安です。読書の量を増やすだけでなく、読書の幅を広げ、質を高めることにも配慮し、1日10分の読書をきっかけに、「10分+α」の読書習慣を身に付けましょう。

本道の子どもたちの学習時間（平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査より）

○ 1日当たり1時間以上勉強している子どもの割合が全国と比べて、小学6年生は8.5ポイント、中学3年生は6.6ポイント低く、学習習慣の定着を図る必要があります。



本道の子どもたちの学習時間と平均正答率の相関（平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査より）



家族とのふれあいを通して、家庭での学習習慣を身に付けさせましょう！

① ほめる

がんばってできたこと、挑戦しようとしたことを認めて、ほめ、子どものやる気を育てましょう。

② 見守る

子どもが家庭学習の計画を立て、取り組む姿を見守り、応援して、子どもの自主性を育てましょう。

③ 決める

スマートフォンやゲームをする時間の約束を家族と一緒に決め、一日の時間を大切にする意識を育てましょう。